

2021 年 4 月 23 日発行

(公社) 日本雪氷学会東北支部

ニュースレター No. 72

2021 年度東北支部大会の開催案内

2021 年度 (公社) 日本雪氷学会東北支部大会 (総会, 研究発表会) を, オンラインにて下記の予定で開催いたします。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として, ハイブリッド(対面とオンライン)形式での開催を検討しておりましたが, 東北地方でも感染症が拡大している現状を考慮しまして, 支部理事会で検討の結果, 完全オンライン形式で実施することとなりました。対面での会合を期待された方々には申し訳ございませんが, どうぞご理解下さい。

つきましては, 皆様のオンライン形式でのご参加ならびに研究発表をよろしくお願い申し上げます。今回, 研究発表プログラムについてもお知らせしますので発表予定者はご確認下さい。

開催日時: 2021 年 5 月 8 日 (土)

開催場所: オンライン (責任者: 安達 聖、防災科学技術研究所雪氷防災研究センター(新庄))

主催: 日本雪氷学会東北支部

発表方法: 発表はウェブ(zoom)による発表です。参加者にはご連絡いただきました E メールアドレスに接続方法をご連絡します。発表時間は質疑応答を含めて 1 件 15 分です。

参加費: 学会員 無料, 非会員 無料 (学生も会員・非会員問わず 無料)

(研究発表会参加者には予稿集(PDF)をお送りいたします。)

出欠確認: 別紙様式に記入の上, 電子メール, FAX, 郵便にてご返信下さい **(5月5日必着)**。

総会を欠席される場合は, 必ず別紙の委任状を電子メール(スキャンしたもの), FAX, 郵便にて提出してください。

スケジュール

2021 年 5 月 8 日(土)

9:15~10:30 総会

10:45~17:15 研究発表会 (日本雪氷学会東北支部との共催)

<研究発表プログラム>

10：45～12：00

【衛星リモートセンシング】5件

座長：若林裕之（日本大学工学部）

- ・衛星データ SPOT/VEGETATION を用いた消雪日の統計値推定
- 朝岡良浩（日本大学工学部）
- ・衛星画像 MODIS を用いた積雪・融雪モデルのパラメータ算定
- 神戸智志（日本大学大学院工学研究科），朝岡良浩（日本大学工学部）
- ・Sentinel-1 衛星 C バンド合成開口レーダを用いた熱帯氷河先端の抽出
- 堀江祐希（日本大学大学院工学研究科），朝岡良浩（日本大学工学部）
Pablo Fuchs（サンアンドレス大学水理・水文研究所）
- ・Sentinel-1 衛星 C バンド合成開口レーダを用いた熱帯氷河下流における湿地水域の抽出
- 門間洋仁（日本大学大学院工学研究科），朝岡良浩（日本大学工学部）
- ・C バンドおよびL バンド SAR によるサロマ湖上氷の観測
- 若林裕之（日本大学工学部），外岡秀行（茨城大学工学部）

<昼休憩 75分>

13：15～14：15

【気象】4件

座長：本谷研（秋田大学教育文化学部）

- ・東北6県における2020-21年冬季の降積雪の特徴
- 本谷研（秋田大学教育文化学部）
- ・令和3年(2020/21年)冬期における新庄の積雪変化について
- 小杉健二，荒川逸人，根本征樹，安達聖，佐藤研吾，田邊章洋
（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）
- ・山形蔵王における雪氷現象の観測(2020/2021 冬季)
- 沖田圭右，山谷睦，原田俊明，沼澤喜一（日本地下水開発株式会社）
- ・山形蔵王の低標高にできる樹氷-2014/2015 冬季～2019/2020 冬季-
- 沼澤喜一，山谷睦，沖田圭右，原田俊明（日本地下水開発株式会社）

<休憩 15分>

14：30～16：00

【雪氷災害】6件

座長：根本征樹（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）

- ・ 2021 年 1 月 19 日に宮城県大崎市で発生した吹雪災害について
- 根本征樹，田邊章洋，荒川逸人（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）
- ・ 2020 年 12 月 24 日に岩手県西和賀町国道 107 号で発生した雪崩の調査報告
- 荒川逸人，安達聖（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）
- ・ 2021 年 1 月 2 日に秋田県横手市県道 274 号で発生した雪崩の調査報告
- 荒川逸人，安達聖（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）
- ・ 2021 年 2 月 13 日に秋田県横手市山内小松川国道 107 号で発生した雪崩の調査報告
- 安達聖，荒川逸人（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）
- ・ 雪崩観測サイトでの観測事例を用いた雪崩モデルのパラメータ決定とその適応性
- 田邊章洋，荒川逸人，安達聖，伊藤陽一（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）
- ・ 陸面過程モデルを用いた凍霜害の推定（2）
- 岩波発彦（東京海上日動リスクコンサルティング株式会社）
- 山崎剛（東北大学大学院理学研究科）

<休憩 15 分>

16：15～17：15

[着雪/社会基盤] 4 件

座長：安達聖（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）

- ・ 着雪の現況把握手法の検討
- 佐藤研吾，中村一樹，富樫数馬（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）
- ・ 気象積雪条件による滑雪塗料の機能発現機構の解明に関する研究
- 佐藤勲征，今野奈穂，四戸大希（宮城県産業技術総合センター），
小杉健二，伊藤陽一（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）
- ・ 無散水消融雪施設の効率的な稼働に向けた検討（その3）
- 服部恭典，山口正敏，鈴木和則（日本地下水開発株式会社）
- ・ 傾斜地型太陽光発電設備への積雪荷重の計測 -2020/2021 冬期 秋田県湯沢市皆瀬村での事例-
- 安達聖，荒川逸人（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）

発表者の皆様へ

本原稿の提出：

- ・ 提出期限および提出先は，改めて案内します。
- ・ 本原稿は「東北の雪と生活」に掲載されます。A4 版 cameraready, 6 ページ以内で作成してください。投稿原稿のフォーマットは別紙を，投稿規程は支部 web サイトをご参照ください (http://www.seppyo.org/~tohoku/journal_kiyaku.htm)。原稿の種類（論文，報告，解説，資料，

その他)を必ず明記してください。講演要旨と同様に、電子メールにて pdf ファイルで提出して下さい。

・ 自筆署名を行った著作権譲渡承諾書の提出も同時に必要です。雛形は支部 web サイトをご参照下さい。

発行：(公社)日本雪氷学会東北支部事務局

発行責任者：金 高義

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾 30 福島工業高等専門学校 都市システム工学科

TEL：0246-46-0828 FAX：0246-46-0843

E-mail：kim.koui@fukushima-nct.ac.jp